

埼玉県議会、「(仮称)放射能汚染防止法制定に関する国への 意見書提出を求める請願」を否決

生活クラブ生協埼玉と埼玉県ネットが集めて、賛同者8,954名(※最終提出数は9094筆)で県議会に提出した請願が、6月の埼玉県議会で否決されました。

今回出した請願の内容は、今心配されている除染土の公共事業による拡散問題や環境への放射能汚染、子どもへの健康被害などを防止するために、きちんとした環境基準や規制基準を定めた「(仮称)放射能汚染防止法」を制定するよう国に働きかけてください、というもので、埼玉県ネットと生活クラブ埼玉で昨年からの学習会を重ね、わずか1か月で9094筆もの



請願の紹介議員の方々とともに

賛同署名を集めることができました。

ところが、請願が付託された環境農林委員会では7対2の賛成少数で不採択。不採択の理由は、「放射性物質は平常時の発生源管理がされているため、一般環境下であらためて環境基準を設定する必要はなく、国の動向を見守るべき」というものでした。県民の健康を考えるならば、安全とは言い切れない放射能汚染については国に先駆けて向き合い、声を上げる

のが本来の県政や県議会の役割なのではないでしょうか。

埼玉県ネットではこれからも、除染土処理の問題や放射能汚染を防止するために各自治体へ働きかけていきたいと考えています。

署名にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

【埼玉県知事へ要望書を提出しました】

埼玉県ネットも一員である「生活クラブ運動グループ」で、埼玉県知事へ要望書を提出しました。

要望の内容は、①環境省が実証実験に着手している、福島県内の除染土の公共事業再利用については埼玉県では使用しないこと。②また、埼玉県内の各自治体で除染した際に発生した除染土を適正に保管し、情報提供を行うことの2点です。



水環境課に要望書提出と意見交換

提出先の建設管理課・水環境課からは、「除染土の公共事業再利用については、国からの情報を待って検討する。県内の除染土の調査や情報提供については検討する。」との回答がありました。

3.11の原発事故直後に各自治体が手探りで対策を講じたように、除染土問題に関しても、除染土は県内では使わないなど、県としての指針をきちんと定めてほしいものです。これからも、各市町への調査や情報提供などを呼び掛けていきたいと思ひます。

埼玉県市民ネットワーク通信

いっしょにやる！なんとかなる！
自分発でもくらしー！



2018年7月発行 56号

2019年統一地方選に向けて

県議選に挑戦します！

来年は統一地方選。1997年に埼玉県ネットが結成されてから6回目の統一地方選です。今回の県ネットの取り組みの一番大きい特徴は、長年の悲願だった県議選に挑戦することです。

2003年にも県議選に取り組みましたが、決定も準備も遅かったため当選ができませんでした。今回は3年前から、県議選ルールや、選挙活動の力の配分、当選後のルールなどを時間をかけて検討してきました。

そして今年4月には越谷選挙区で代理人候補も決まり、少しずつ支持拡大活動を始められています。

全地域ネットも市町議誕生をめざす

地域ネットでは、9ネットのうち鴻巣、越谷、鶴ヶ島、所沢、三芳、寄居、羽生準備ネットの7ネットの市町が改選を迎えます。候補予定者も、越谷ネットでは新人・現職で2名、羽生ネットでは若いママ世代、寄居では連携候補予定者がすでに決まっています。それ以外のネットも候補選考を重ね9月には決定する予定です。今は代理人のいないネットも模索しているところです。

今こそ地方が頑張らないと

国では公文書改ざん問題、一強政権の下

にはびこる村度行政、問答無用の強行採決、明治憲法復活勢力の増大...など民主主義が極端に侵されつつあります。

そんな時代だからこそ、地方が踏ん張らねばと考えます。

これまで地域ネットは、ごみ、水、緑、空気、放射能、エネルギー、子育て、農業、食の安全、障害者福祉、高齢化、介護、財政の健全化、議会改革、自治、平和など多くの問題に取り組んできました。課題は山積しています。それらの課題を解決するためには自前の議員を持ち、みんなで活動することが一番大切です。

多くの課題をかかえる埼玉県

県も県議会も課題がいっぱいです。全国一高齢化のスピードが速い地域なのに、人口あたりの医師数が全国一少ない埼玉県。

電力の大消費地であり快晴率が全国一の埼玉県なのに自然エネルギーの普及と省エネはなかなか進みません。

障害のある子どもたちが地域の学校で学べるようにすることも、以前からの課題です。

県議会も変えねば

埼玉県議会は定数93人のうち過半数の52人を自民党が占めています(2018年6月現在)。

その結果、県民から出された請願もほとんど審査されなかったり、「原発再稼働を国に

求める意見書」が採択されて全国から抗議が殺到したりする事態になっています。

県ネットと生活クラブ生協で、6月の埼玉県議会に、「放射能汚染防止法の制定を国に求める意見書提出の請願」を9,000名分もの署名を添えて提出しましたが(写真)、委員会や本会議でたった数分の意見交換で否決されました。(詳細 4面)

こんな埼玉県を変えるには、私たちがもっと県政を見守り、声を届けていくことが必要です。



9000筆もの署名の山

9つのネットが手を携えて

地域ネットと県ネットの仲間・代理人が手を組めば、埼玉に自治の輪が広がりネットの政策が飛躍的に進みます。みんなで頑張りましょう。

埼玉県市民ネットワーク 地域ネット一覧

- ・生き生きネットワーク鴻巣
- ・越谷市民ネットワーク
- ・市民ネットワーク鶴ヶ島
- ・市民ネットワーク所沢
- ・富士見市民ネットワーク
- ・ネットワーク三芳
- ・よしかわ市民ネットワーク
- ・まちネットワーク寄居
- ・羽生市民ネットワーク準備会

- 鴻巣市吹上富士見 3-11-12 西尾方
- 越谷市東越谷 1-5-17 共生建設第2ビル1F
- 鶴ヶ島市富士見 3-27-106 大野方
- 所沢市小手指町 4-17-48 光ビル1F
- 富士見市針ヶ谷 1-26-18 加藤方
- 入間郡三芳町北永井 871-5-3-403 鈴木方
- 吉川市栄町 782-1 B906 猪野方
- 大里郡寄居町今市 212-1 大北方
- 羽生市南羽生 3-6-11 佐藤方



地域ネットワーク活動報告

よしかわ市民ネットワーク 目指せ、市民力UP!

江戸川と中川に挟まれ、水面より低い吉川市。豪雨による冠水対策にも頭を悩ませています。私たち市民には何が出来るのか？雨水タンクなど手軽に出来る貯留設備を増やせないかな？水道管の老朽化は大丈夫なの？国では水道事業の民営化法案も通ったけど、今後も飲み水は大丈夫なの？いろんな水の問題について学び考えよう！とち〜む・あくあ@よしかわを結成しました。

さらに、吉川市の懐事情知り隊も結成。大和田一紘先生に2日間しっかり食らいついて、公表されている財政の数字の読み解き方も学んじやいます。

大事なことを決められる市民になる為に、みんなでレベルアップを目指します！



市民ネットワーク鶴ヶ島 学習会「社会の構造が貧困をつくる」

子どもの貧困は「家庭が貧しいために、子どもたちが貧困状態に置かれている」ことにあります。

でも、それは当事者だけの責任なのではないでしょうか。世界一幸福な国デンマークと53位の日本、その違いにこの疑問を解く鍵がありました。

社会保障制度が充実しているヨーロッパの人たちは、子どもの教育費や老後の資金に追われることも不安ありません。「生活苦から解放されると、人は自由を感じる」と聞き、日本には本当の自由がないことを知りました。

社会で貯蓄する仕組みのオランダ、ヨーロッパ諸国。いつでもいくらでも自分のしたいことができる、好きな所から乗ったり下りたりできるメリーゴーランドのような社会が作れたのは、他ならぬ民主的な政治でした。

子どもたちに幸せ？と聞くとyes!と答える国へと変えるためには、議員をたてて地域の中を分析する、代理人運動の政治スタイルが必要だと感じました。

5/12講師：市民セクター政策機構代表専務理事白井和宏さん
主催：狭山ブロック運動グループ



越谷市民ネットワーク 空き家がこども食堂に！ 「ぼらむの家」オープン

全国で空き家の増加が深刻化する中、空き家を単なる老朽家屋としてではなく、地域コミュニティの場として活用していこうという動きが全国で少しずつ起きています。

越谷でも、ネットが関わって長年空き家だった一軒家を改修した地域交流サロン「ぼらむの家」が5月にオープンしました。昭和20年代に建てられた古民家を格安で借りる代わりに、家財道具の片づけや改修工事ではできる限り自分たちで行いました。現在は、週1回の子ども食堂を中心に、地域の方々による寺子屋などを行っています。

それまで空き家だった場所が交流拠点になったことで地域に住む様々な人々が集うになり、子育て世代や高齢者の孤立予防、障害のある人もない人も共に生きることなど、地域コミュニティの再生に必要なことを肌で実感できる場所になっています。

「ぼらむの家」の「ぼらむ」は、韓国語で「やりがい」や「生きがい」。誰もが生きづらさを抱える中で、ここに来て誰かと関わることがその人の生きる力になるような、そんな場所を目指して活動していきたいと思っています。



富士見市民ネットワーク 福島 2017 現場

私たちが、取り組んでいることは、主に放射能に関することです。昨年からは福島の現場を見学、富士見市内定点観測を年3回初めました。現地見学では、私が1番驚いたことは、走行中(時速60KM以上出ていると思います)のバスの中で、持参された放射能測定器が「あちらこちらで「びーびー」と鳴ったことでした。もう7年も経っているのに…年々堤防で海が見えなくなっているのが残念です。また、東京新木場にある第5福竜丸見学に行きました。いずれも現地に行ってみない感じられないことがたくさんありました。今年も福島見学に参加する予定です。



バスで走行中車外の荒れ果てた様子

まちネット寄居 わたし発で作っていく地域福祉へ

寄居町の高齢化率は(65歳以上)30%近くの現状、少子高齢化は加速度的に進んでいる。誰もが抱える不安。この先この地域で安心して暮らしていけるのか。漠然とした不安を抱えているだけでは何も解決しない。そこで寄居のネットでは、まずはネット会員に呼び掛け、将来へのあるいは今抱えている不安や状況など出し合うことにした。

6月に有志が集まり、様々な情報交換や思いを語り合った。そのなかで、路線バスもなく、現在は自分で自家用車を運転し自由に動いているが、この先移動の自由が失われることが一番の不安。町内を走るデマンドタクシー(乗り合いタクシー)も、3日前予約からやっと1時間前の予約可能となったが、その分利用者も急増し、今や思うように予約が取れず往復での利用も難しくなっている。町内だけの限定で近隣の大きな病院へは使えない。寄居庁舎の屋上にあった展望レストランが閉鎖されてから数年、未だ空きスペースのまま、もっと町民が活用できないか。など様々な意見が出され実態も見えてきた。

寄居町には、社会福祉協議会を中心に定期開催のサロンが6か所ある。9月には、そのうちの一つ鉢形城歴史館内にある「お城deカフェ」の見学を計画している。まずは知ることからスタート。そしてこの先何が必要なのか、そのためにはどうしたらよいか、皆で知恵を出し合い、提案し、私発の地域福祉づくりへと進めていきたいと思う。



市民ネットワーク所沢 「所沢市の学校給食はどうなっているの？」 5/18 所沢生活館映画上映会

5月18日、生活クラブ運動グループ所沢地域協議会に呼びかけ、給食学習会を開催。

市保健給食課栄養士による説明を聞きました。長年給食改善運動に取り組んできた市民からは「昔に比べて本当に質が高まった」という意見。

しかし、老朽化に伴い第二給食センター跡地に新センター建設予定があることを知り「せっかく4割まで進んできた自校式給食導入はストップするの？」という心配の声も。

学習会終了後は、ホームページで公開されている給食レシピで作ったメニューでプチ試食会。

赤ちゃん連れの若いママも参加してくれました。未来を生きる子どもたちが、安心して美味しい給食を食べてほしいと改めて思いました。

自校式、また第一・第三給食センターではそれぞれ食器が違ってきます。「同じ市内の小中学校なのに、なぜ格差があるの？」という疑問の声を受けて議会の一般質問につなげていきます。



ネットワーク三芳 石坂産業を見学して

石坂産業がある「くぬぎ山」(川越・狭山・所沢・三芳の入会地)周辺は、かつて産廃業者が建ち並ぶ産廃銀座と呼ばれる地域だった。行政訴訟を起こされほとんどの産廃業者が立ち退く中、煙突は1本も立てず建物の中でのクリーンなリサイクルをすることを目指している石坂産業を見学してきた。

廃棄物をゴミにしない技術で、集めた産廃の98%を再資源化しているとのことだが、リサイクルされた製品が自分たちの回りでどれくらい使われているかを知らないと感じた。私たちは意識して選び使っていかなければいけないと思う。



羽生準備ネット 大盛況でした☆「ガレイ祭」!

全国各地で選挙や民主主義についての講座講師をしている座間宮ガレイさん。今回羽生支部で招くことになり、どうも小難しいイメージの政治を身近に楽しく!ということで、打ち上げ花火をイメージしたチラシにどどんと「祭」を掲げて準備してきました。ポップコーンやガチャガチャ、なんなら法被や浴衣を着て待っていた私たちに、ガレイさんもびっくりしていましたが、撮影オッケー、おしゃべりオッケー、飲食オッケーとなんでもありのお勉強会は、ほんとに楽しく、3時間があっという間でした。

子供も含めると参加者は約50人。サッカーの強い国は民主主義が進んでる？日本はなぜいいフォワードが育たないのか？なんて現在行われているワールドカップにも絡め、子どもたちも聞きやすい話も多く、みんなうんうん頷いて。その中でも印象に残ったのは地域性のお話です。「幸せになるために必要だとおもうことを5個挙げて」という質問をして、みんなで共有・共感してもらったことで、実はその中にその地域の住民の、普段は見えずらい要求が見えてくる、というもの。羽生を改めて知る上でも、ぜひ今度みんなでやってみようと思いました。

そして心強かったのが「グループの力はすごい」ということ。とにかく10人集まれば当選するという持論のガレイさん。羽生ネットもこの調子で楽しく頑張るぞー!

